

10月5日（土）2年生が、震度6強の地震発生を想定した静岡医療センターの災害訓練に、負傷者役として参加しました

負傷者役の学生が
病院へ押し寄せます



重症度を判断して、治療の優先度を決定
トリアージタグをつけて、それぞれのエリアへ



参加前に、災害による負傷状況の臨場感を出すために、
トリアージメイクを実施

緑エリア

治療後に帰宅可能な
軽症患者さんを演じました



黄エリア

緊急に治療が必要ではありませんが、入院が必要と考えら
れる中等患者さんを
演じました



赤エリア

すぐに治療が必要な重症患者さんを演じました



本当に災害が発生したとき、多くの被災者の方々が来ることを想像したら、日頃からの訓練が大切だと思いました。
私たちも、これから医療者として働くので、被災者の方々の不安な気持ちに寄り添える看護師になれるように頑張ります。

